

学校経営方針

京都市立西院小学校

1. 学校教育目標

自ら考え行動し、夢に向かって進む心豊かな子どもの育成
～一人一人が輝く西院の子～

近年、情報化やグローバル化、人工知能（AI）の進化により、人間の予測を超えて加速度的に社会や生活を大きく変えていくであろうと言われている。このような時代だからこそ、子どもたち一人一人が予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って、関わるができるようにしていかななくてはならない。そのためには、感性豊かな子どもを育て、自分から進んで学びに向かい、自ら考え判断し、行動できる力を付けていくことが大切であるとする。一人一人の可能性を伸ばし、自分らしさを発揮し、夢に向かって未来を切り拓いていく子どもの姿をめざし、これまでと同様人権尊重の精神を基盤にして、本校の教育活動を進めていきたい。

2. 目指す学校像 子どもが毎日楽しく通える学校

3. 目指す子ども像

- ・自ら進んで学習し、互いに高め合う子（知）
- ・互いに認め合い、自分も友達も大切にする子（徳）
- ・身も心も鍛え、命を大切にする子（体）

4. 今年度の重点 自分から進んで学びに向かい、自ら考え判断し行動できる力を伸ばす。

5. 目指す子ども像の実現に向けて今年度特に力を入れたい取組

子どもたちが主体的に学び、対話力が高まるよう取組を進めていきたい。今年度は、特に、生活科・総合的な学習の時間において、「主体的・対話的で深い学び」が展開できるよう授業改善に取り組み、地域とのつながりを大切にした学習を進め、ポスター発表等の取組を通して、自分のおもしろい考えをしっかりと相手に伝えられる子どもを育てていく。

- （1）生活科、総合的な学習の時間における体験活動・探究活動を大切にした主体的な学び

（年3回のポスター発表）

- （2）道徳教育の充実（豊かな心を育てる。）
- （3）人権教育を基盤とし、温かな気持ちで人に接することができ、互いに認め合える子ども同士の関係づくり
（授業のユニバーサルデザイン化、人的環境・物的環境の整備）
- （4）「西院の子 心でつながる5つのやくそく」の実践



6. 目指す教職員像 教育者としての責任を自覚し、確かなビジョンと力量を持つ教職員